

### 三省堂『明解国語総合改訂版』（国総339）評価規準例案 資料

学習のねらい	○「私」とコーヒー屋の人たちとの結びつきの深まりを読み味わう。 ○できごとと、それに対する思いとを関連づけて捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：B書くこと(2)ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。		
教材名	角田光代「ベトナムのコーヒー屋」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人物の心情や行動を理解し、文中で示される人と人とのあたたかい交流について読み味わい、感じ取ろうとする。	旅先での「私」の状況、心情、その変化を理解し、深く捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれたエピソードから「私」の心情がどのように変化し、コーヒー屋の家族とどのように絆を深めていったかを理解している。	コーヒー屋の家族との交流をとおして「私」が得たものは何だったのか、人物の心情や考え方を理解している。	記述の確認
知識・理解	常用漢字の音訓の読みを理解している。	文中に出てくる常用漢字が音読できている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりにしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の確認
知識・理解	常用漢字の読み慣れてる。	常用漢字の音訓を正しく読んでる。	行動の観察

学習のねらい	○勝ちにこだわることの多い現代社会の問題点とは何かについて、考えを深める。 ○「適切な負け方」「意義のある敗北」などのキーワードに着目して、筆者の主張を捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。		
教材名	内田樹「負け方を習得する」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	現代社会で生きていく上でどのような考え方を身につければよいか、筆者の主張を文章から読み取ろうとする。	文章のタイトルや文章中のキーワードの意味を捉え、具体例をもとに展開される筆者の主張を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	「適切な負け方」などのキーワードの意味を捉え、筆者の主張の要点を理解している。	タイトルやキーワードの意味と、具体例で表されている筆者の主張の要点を理解している。	記述の確認
知識・理解	中学校までに学んできた主な常用漢字が書けている。	中学校までに学んできた主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の確認
知識・理解	主な常用漢字が書けている。	主な常用漢字を文脈に応じて正しく書いている。	記述の確認

学習のねらい	○自分のことをわかりやすく具体的にスピーチするための姿勢や方法を身につける。 ○他者のスピーチを聞き、これからの自分のスピーチに役立てる。		
言語活動例	A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。		
教材名	自分を印象づけるスピーチ 自分を漢字で表すと？	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	A話すこと・聞くこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分のことをわかりやすく印象的にスピーチしようとする。	自分を表現する印象的な漢字一字について考えようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	どうしたら自分のことをわかりやすく印象的に他人に伝えられるか、自分の考えをもっている。	自分のことを具体例に基づいて印象的にスピーチできている。	行動の観察
知識・理解	スピーチに必要な文章の組み立て、語句の意味、語句の用法について理解している。	スピーチ原稿に必要な文章の組み立てや語句の意味・用法を理解し、適切な原稿を作成している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもととする。	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもっている。	話す内容に対する認識や態度を自らの内部に形成している。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すこと・聞くことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○少年とそれを支える母親，二人を見守る宿の人たちの交流と心情を読み取る。 ○登場人物を，その言動から捉え，人物像を明らかにする。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。 参考・A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり，資料に基づいて説明したりすること。		
教材名	三浦哲郎「とんかつ」	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	描かれた人物の人物像や心情を理解し，その言動の意味を表現に即して捉えようとしている。	登場人物たちそれぞれの思いと，言動の意味を，それぞれの立場から捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物の人物像や心情を理解し，その言動の意味を，表現に即して捉えている。	少年および母親や宿のおかみの思いと，言動の意味を，それぞれの立場から捉えている。	記述の確認
知識・理解	文章の組み立て，語句の意味，用法および表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	段落相互の関係を捉え，文脈上の語句の意味や漢字の使い方などを理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，異なる立場から読み深めようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み，異なる立場から読み深めている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文の組立て，語句の意味について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○公園で拾った本が男の子の心情にもたらした変化について考える。 ○小説中の表現の特徴を捉え、その表現に託された男の子の心情を明らかにする。		
言語活動例	C読むこと(2) イ文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考・A話すこと・聞くこと(2) ウ反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。		
教材名	オムライス ブックガイド1	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	主人公のおかれている状況を理解し、最後に至った主人公の心情について自分なりの考えをもつ。	男の子のおかれている孤独な状況を想像し、他者や自分自身とつながるということについて、自分の考えをもとうとしている。	行動の確認
読む能力	小説中の表現から登場人物の人物像や心情を読み取り、場面の推移と人物の心情の変化を理解する。	比喩表現や象徴的な表現から登場人物の人物像や心情を読み取り、小説中におけるその変化を理解している。	記述の点検
知識・理解	常用漢字の音訓や難解な語句の意味を理解し、読んだり書いたりし、短文などのなかで使用する。	出てくる常用漢字の読みに慣れ、書けるようになるとともに、難解な語句の意味を調べ理解する。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいく。	文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいく。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	語句の、文脈の中におけるニュアンスなどが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	記述の確認

学習のねらい	○石仏の写真を見て、その表情や雰囲気から発言・会話を想像し、考えて発表する。		
言語活動例	A話すこと・聞くこと(2)イ		
教材名	なんて、言っている？	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	A話すこと・聞くこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	写真を見て想像力をはたらかせ、その表情の特徴を見いだそうとする。	石仏たちの豊かな表情に関心をもち、その様子を言葉に表現しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	写真を見て想像した発言・会話の内容を、わかりやすく、効果的に発表している。	発表の内容がわかりやすく、聞き手を納得させるような話し方になっている。	行動の分析
知識・理解	発表に際しての語句の意味、用法などが適切なものになっている。	石仏の発言・会話に「せりふ」にふさわしい言い方が工夫されている。	行動の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	目的や場に応じて、効果的に話そうとする。	何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	目的や場に応じて、効果的に話している。	何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。	行動の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	行動の分析

学習のねらい	○限られた言葉でつづられた詩から、「わたし」が抱いている「おもいのたけ」とはどのようなものなのか、考える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	石津ちひろ「シリウス」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩に描かれた情景描写と「わたし」の思いとの関係について考えようとする。	「わたし」が、いつ、どこで、何をしているのか、詩の場面について思いをめぐらそうとしている。	行動の観察
読む能力	詩のタイトルや、使われている言葉がもつ意味を的確に捉えている。	「シリウス」という詩のタイトルや、詩の中の中心となる語に込められた意味を読み取っている。	行動の観察
知識・理解	詩の言葉の一つ一つがもつ意味を捉え、それが象徴しているものは何か、理解している。	平仮名で書かれた詩の中で、一つだけ使われている「シリウス」という片仮名語が表している効果について理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割、などを理解している。	詩における修辞や、語句の用い方について理解している。	行動の観察

学習のねらい	○比喩や表記上の工夫を捉え、「私」の思いを明らかにする。		
言語活動例	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	石垣りん「シジミ」	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	描かれた情景を想像し、「私」の心情を捉え、読み味をおうとする。	時間や場所、細部の情景をとらえ、ここでの「私」の心情を理解し、自分の考えをもととしている。	行動の観察
読む能力	比喩や表記のもつ表現効果に注目し、描かれた情景や心情を読み味わい、人間や社会に対して、自分の考えをもっている。	詩の表現の特殊性に気づき、その意味するところを捉えて「私」の心情を理解し、社会や人間に対して考えを深めている。	記述の確認
知識・理解	詩の構成、表記の仕方などに着目し、表現上の効果を理解している。	詩の構成を捉え、片仮名書きの意味やその表現効果を理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割、などを理解している。	詩における修辞や、語句の用い方について理解している。	行動の観察



学習のねらい	○詩に描かれた情景を豊かに想像しながら、「わたし」が「あなたたち」に抱いている思いを明らかにする。		
言語活動例	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	校庭で ブックガイド2	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	詩の中の「わたし」と「あなたたち」との関係について深く考える。	タイトルにもある「校庭」という言葉から、先生が生徒たちを大切に思って語りかけている詩だと読み取っている。	行動の観察
読む能力	詩の中の「未来」という言葉がどのような意味をもつのかを的確に捉える。	「未来」には、明るい一方ではなく、さまざまな意味が込められていることを理解している。	行動の観察
知識・理解	詩の言葉の一つ一つが何を象徴しているのかを捉え、作品世界を理解する。	詩の言葉を手がかりに、「あなたたち」のはつらつとした様子や、「わたし」の深い愛情を読み取っている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文  
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を，文章の種類や類型，書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割，などを理解している。	詩における修辞や，語句の用い方について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○自分と隣の友達の紹介文を書くことをとおして、自己を客観的に見つめる視点を見いだす。		
言語活動例	B書くこと(2)イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。		
教材名	隣の友達	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分と友達との違いを客観的な視点から捉えようとする。	自分と友達との違いを、具体的な経験を通じて客観的に捉えようとしている。	行動の観察
書く能力	一つの文章の中に、自分と、友達という他人を表現することにより、人に対する見方を深めている。	自分と他人とを客観的に見つめる視点を持ち、短い文章に端的にまとめている。	記述の確認
知識・理解	指定された字数や語の制限の中で、文章を適切に組み立てている。	二百字という短い制限字数内で二つの部分からなる文章を書き、文章を組み立てている。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	事実や事柄などを、対象に忠実かつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明しようとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	事実や事柄などを、対象に忠実かつ正確に、読み手によく分かるよう具体的に説明している。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文の組立て、語句の意味、語句の用法、国語の表記の仕方について理解している。	記述の分析

学習のねらい	○魚の生態を明らかにしていく文章を読み、自然と人間との関わりについて考えを広げる。 ○データをもとにして進めていく論理展開を明らかにし、筆者の主張を読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：A話すこと・聞くこと(2)イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを開いたりすること。		
教材名	松浦啓一「魚は陸から離れられない」	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	魚の生態や、魚と人間との関わりについて考えようとする。	魚の生態や、魚と人間との関わりについて、文章だけでなく、図版やグラフなどを通じて考えようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の主張を、文章だけでなく、図版やグラフなどの資料の情報で検証しながら理解している。	文章と、魚の生態に関する図版やグラフなどの示す数値とを照合しながら、筆者の主張を読み取っている。	記述の確認
知識・理解	具体例、参照すべき図版やグラフの数値が論理と結びつけて展開される文章の構成を理解している。	具体例や図版、グラフの数値などが筆者の主張の論拠となり、説得力のある文章となっていることを理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○人間の廃棄物によって死に追いやられる海亀に関する同一の事実を扱った，意見広告と新聞記事を比較し，文章の目的，文体や書き方の違いを捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)ウ 現代の社会生活で必要とされている実用的な文章を読んで内容を理解し，自分の考えをもって話し合うこと。 C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ，内容や表現の仕方について，感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	海ガメの無念	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	同一の事実に対して，目的が異なると書き方がどのように違うのか，考えようとする。	同一の事実に対する書き方の違いにより，受け手の印象がどのように違うか，考えようとしている。	行動の観察
読む能力	目的によって，さまざまな文章の書き方があり，それによって読み手に伝わる内容や印象が異なってくることを理解している。	意見広告と新聞記事の文章の違いを比較し，その違いはどのよう点にあるのか，理解している。	行動の観察
知識・理解	文章の種類により，文章表現や構成などにどのような違いがあるのか，理解している。	意見広告と新聞記事の文種の違いにより，文末表現，引用の仕方，文章の構成などにどのような違いがあるのか，理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとする。	幅広い形態，内容，分野の本や文章を読み，情報を得ようとしている。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み，ものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。	幅広い形態，内容，分野の本や文章を読み，情報を得ている。	行動の観察
知識・理解	文や文章の組立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文の組立て，語句の用法，表記の仕方について理解している。	行動の観察

学習のねらい	○グラフや表などの資料から情報を正確に読み取り，その情報を生かして自分の考えを文章にまとめる。		
言語活動例	B 書くこと(2)イ 出典を明示して文章や図表などを引用し，説明や意見などを書くこと。		
教材名	情報の読み方・扱い方	配当時間	6
学習指導要領の指導事項	B 書くこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	グラフから情報を的確に読み取り，それに基づいて自分の意見を述べようとする。	グラフを見て，その情報から読み取れる特徴や問題点について，自分の意見を持ち，文章にまとめようとしている。	行動の観察
書く能力	情報の確かさを判断し，その情報が表している特徴を理解し，自分の意見を述べている。	調査方法の妥当性を確かめ，グラフから情報を適切に読み取り，自分の意見を文章にまとめることができている。	記述の分析
知識・理解	グラフの統計数値を分析する方法について理解し，それを文章にして的確に人に伝える方法を身につけている。	グラフから特徴的な傾向をつかみ，それを分析して文章にするための語句の使い方などを身につけている。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめようとする。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示そうとしている。	行動の観察
書く能力	論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめている。	自分の考えの妥当性を裏付ける，客観性や信頼性の高い資料を用い，自らの論が成り立つ根拠を示している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	書くことに必要な，語句の構造的な仕組みについて理解している。	記述の確認

学習のねらい	○一人の人間と戦争との関わりをもとに、人間の生き方について考えを深める。 ○文章の構成に着目してできごとを捉え、筆者の思いを読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：A話すこと・聞くこと(2)イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。		
教材名	黒柳徹子「ツゴイネルワイゼン」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	状況と人物との関わりについて注意を払いながら文章を読もうとする。	豊かな想像力で、描かれた場面を思い描き、それぞれの場面における人物の思いを文章から読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	一つ一つのエピソードが語っていることの意味を理解している。	それぞれのエピソードを意味のまとまりと考え、その意味を記述をふまえて読み取っている。	行動の確認
知識・理解	文章の組み立てにおいてエピソードが挿入されているような場合の文章構成や時間の把握ができています。	父親の思い出、自分の思い出、父の知り合いの人が語る挿話など、現在と過去の錯綜する事実を時間軸にそって捉えている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。	行動の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	語句の、文脈の中におけるニュアンスなどが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	行動の観察

学習のねらい	○「自分にしか書けないこと」を発見し、その意味を捉えて、他者に伝える。 ○書き上げた自分の文章を客観的に読み直すとともに、他者の文章表現から学び合う。		
言語活動例	B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。		
教材名	私の発見や変容を伝える 感想文・報告文 ブックガイド3	配当時間	10
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)ア・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	自分の体験を想起し、その意義について考えようとする。 文章を読み合い、文章表現について積極的に意見交換をしようとする。	自分の体験などを思い出して、メモに書き出そうとしている。 読むことに集中し、コメントを書こうとしている。	記述の確認 記述の確認
書く能力	相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書いている。 適切な表現の仕方を考えて書いている。 優れた表現に接して、その条件を考え、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	心に残るできごとを取り上げている。  できごとの様子がよく伝わるように書いている。 他者の文章を読み、優れた点を学び取っている。	記述の分析  記述の分析 記述の分析
知識・理解	文章表現の特色及び言語の役割などを理解している。  文章の組立てを工夫するとともに、適切な語句を選択して使っている。	「伝達」「認識」「思考」「創造」という言語の四つの機能を理解している。 「書き出し」と「結び」とが対応した論旨の一貫性のある文章を書いている。	記述の確認  記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	相手や目的に応じて題材を選ぼうとする。	書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選ぼうとしている。	記述の確認
書く能力	相手や目的に応じて題材を選んでいる。	書く相手や、書く目的を実現するのにふさわしい文章の形態や文体、語句などを考え、適切に選んでいる。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○母の入院にまつわる少年の思いの変化を読み深める。 ○会話文を手がかりに、場面ごとの人物の心情を捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	重松清「バスに乗って」	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物たちの心情を文章に即して考えようとする。	登場人物たちのせりふに込められた思いについて考えようとしている。	行動の確認
読む能力	できごととそれに伴う登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わっている。	主人公の少年と、バスの運転手の河野さんとの会話を中心に主人公の心情の変化を読み味わっている。	記述の点検
知識・理解	登場人物の心理に関わる地の文や会話の言葉のニュアンスが読者の心を捉える表現上の効果をあげていることに気づいている。	地の文に描かれた登場人物達の行動や表情の描写、そして会話文などのニュアンスが生み出している効果に気づいている。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の確認
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	記述の点検
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	語句の、文脈の中におけるニュアンスなどが、表現上の特別な効果を生み出すことがあることを理解している。	記述の点検



学習のねらい	○物語の中にたち現れる生命観や人間観・自然観について理解を深める。 ○擬声語・擬態語・比喩などの表現のおもしろさを味わう。		
言語活動例	C読むこと(2) エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	なめとこ山の熊	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1) オ 伝国イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の語りが生み出す物語のおもしろさを感じ取ろうとする。	「なめとこ山の熊のことならおもしろい」という冒頭の語りと言う「おもしろさ」がどういう点にあるのかを理解しようとしている。	行動の確認
読む能力	小十郎の生き方や考え方の変化を通じて、筆者が何を表現したかったのかを考える。	場面ごとの小十郎の熊への思いを読み取ることにより、筆者の世界観を理解している。	記述の点検
知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	文の段落構成や、使用されている四字熟語や慣用句などの意味を的確に把握している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成しようとしている。	行動の確認
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成している。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動の分析

学習のねらい	○興味をもった本の内容やその魅力をレジュメを使いながら口頭で発表する。 ○他者の発表を聞き取り、適切に記録を取る。		
言語活動例	A話すこと・聞くこと(2)イ 調査したことなどをまとめて報告や発表をしたり、内容や表現の仕方を吟味しながらそれらを聞いたりすること。		
教材名	この本を読んでみて！ブックトーク	配当時間	5
学習指導要領の指導事項	A話すこと・聞くこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容が伝わるように工夫して発表しようとする。 発表を聞き取り、記録を取ろうとする。	レジュメに基づき、適切に聞き取れるよう発表しようとしている。 発表を聞きながら、教科書を参考に記録用紙を作成しようとしている。	行動の確認 記述の確認
話す・聞く能力	内容が伝わるように工夫して発表している。 発表を聞き取り、記録を取っている。	レジュメに基づき、適切に聞き取れるよう発表している。 発表を聞きながら、教科書を参考に記録用紙を作成している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	他者に正確な情報を伝達するための言語の役割と、話し言葉の特徴について理解している。	情報を正確に伝達するための話し言葉における言葉の使い方や話し方について理解している。	行動の確認 記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。	行動の確認 記述の確認
話す・聞く能力	話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	相手の話の内容についての評価を通して得た、優れた洞察や思考などを、自分自身の人間、社会、自然などに対する思いや考えを見直したり、深めたり、広げたりする契機としている。	行動の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話すこと・聞くことに必要な、語彙の構造的な仕組みについて理解している。	行動の確認 記述の確認

学習のねらい	○繰り返し読んでリズムを味わい、短歌に表現された情景と心情とを読み取る。 ○繰り返し読んでリズムを味わい、選び抜かれた言葉を手がかりに俳句に描かれた世界を豊かに想像する。		
言語活動例	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。 参考：B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。		
教材名	「遠い片手（短歌九首）」 穂村弘「麦わら帽子のへこみ」 ブックガイド4 「春のオルガン（俳句十二句）」	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	繰り返し読んでそれぞれの短歌や俳句のリズムを読み比べ、その面白さを理解しようとする。	短歌や俳句を読み比べ、リズムを味わい、それぞれの短歌や俳句の違いやおもしろさを感じ取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	短歌や俳句に表されている情景や心情を理解し、さらに解説文や関連書籍を読んで定型詩に関する興味を広げ、理解を深めている。	それぞれの短歌や俳句がどのような情景をよみ、どういう心情を表しているのか、解説文や書籍などをふまえて、理解を深めている。	記述の分析
知識・理解	短歌や俳句の修辞や、語句の用い方について理解している。	短歌や俳句における語句の効果的な使い方や、修辞の技巧がもたらす効果について理解している。	行動の確認 記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	様々な本や文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な本や文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしている。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割、などを理解している。	国語の表記、語彙、文法の特色について理解している。	行動の確認 記述の分析

学習のねらい	○小説に使われている比喩表現を題材に、効果的な比喩の使い方や文章表現の仕方を身につける。		
言語活動例	B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。		
教材名	原作と勝負！	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	小説の一節にならって自分の思いを表現しようとする。	小説の文章の面白さを捉え、それにならって自分の思いを表現しようとしている。	行動の観察
書く能力	課題として取り上げられている文章の条件を把握し、適切な表現方法を考えて書いている。	指定された条件にあった効果的な比喩が考えられ、適切な文章表現がなされている。	記述の分析
知識・理解	比喩による表現方法の多彩さを理解している。	文脈の中での正しい比喩の使い方について理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとする。	描写するとき、比喩をはじめとした表現の技法を適切に用いて書こうとしている。	行動の観察
書く能力	対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。	描写するとき、比喩をはじめとした表現の技法を適切に用いて書いている。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	書くことに必要な、国語の、語彙、文法の特色について理解している。	記述の分析

学習のねらい	○二つの水の姿を捉え、東西の文化の違いについて考えを深める。 ○対比的表現に着目して、筆者の考えを読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	山崎正和「水の東西」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章を読んで、東西の文化の違いについて考えようとする。	日本と西洋の水の比較から、東と西の文化の違いについて考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	対比表現に着目し、筆者の主張を的確に読み取っている。	筆者の主張する、鹿おどしと噴水の比較から捉えた、日本と西洋の水に対する考え方の違いについて、的確に理解している。	記述の分析
知識・理解	二項対立によって展開される評論の基本的な形式について理解している。	東西で異なる水に関する具体例と論理によって展開される、二項対立による評論の基本的形式を理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立てについて理解している。	記述の分析

学習のねらい	○日常生活の中の「問題解決の方法」について、考えを深める。 ○文章の構成を明らかにするとともに、繰り返し出てくるキーワードに着目して、要旨を捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	堀井秀之「問題解決の心理学」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章のキーワードを捉え、自分の言葉に直して説明しようとする。	文章の主張の中心となるキーワードを捉え、その意味を自分の言葉で説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	評論に使われているキーワードや表現を自分なりに捉え、わかりやすく説明している。	「問題解決のメカニズム」に関するキーワードや表現を、自分の言葉でわかりやすく表現している。	記述の分析
知識・理解	文章の中の重要な語句の意味や、全体の中でのその役割について理解している。	文章中の重要語句の意味を理解し、それが筆者の主張とどのように結びついているのかを理解している。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて、分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて、分かりやすく説明している。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割、などを理解している。	国語の文字、表記、語句、語彙の特色について理解している。	記述の分析

学習のねらい	○お互いの意見に耳を傾け合って、よりよい考えを導き出す話し合いの大切さを理解する。		
言語活動例	A話すこと・聞くこと(2)ウ 反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話合いや討論などを行うこと。		
教材名	討論ゲームを楽しもう	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	A話すこと・聞くこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	積極的に討論に参加する姿勢を身につけようとする。	相手の話の内容を適切に受け止め、筋道を立てて、討論の場にふさわし言葉遣いで自分の意見を述べようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	話し合いの中で適切に話したり、聞いたりする力を身につけている。	相手の話の内容を適切に受け止め、筋道を立てて、討論の場にふさわし言葉遣いで自分の意見を述べている。	行動の観察
知識・理解	討論の際の、言語によるコミュニケーションが、集団の中でもつ必要性について理解している。	正しい討論の方法を身につけることが自分や集団のあり方をよりよく調整し、高めていくことを理解している。	行動の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重しようとする。	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重している。	相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	行動の分析

学習のねらい	○現場での人間の仕事が生み出す豊かな仕事言葉について考えを深める。 ○文章の構成を整理し、豊かな日本語と仕事言葉に対する筆者の考えを読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：A 話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。		
教材名	豊かな仕事言葉	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	豊かな日本語や人間の仕事が生み出す豊かな仕事言葉に関して自分なりの考えをもつ。	日本語・和語・大和言葉に関心を持ち、現場で使い分けられる仕事言葉、その意義について自分の考えをもとうとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	文章の構成を整理し、雪や色を表現する言葉、現場で培われた仕事言葉に対する筆者の考えを読み取る。	雪や色に関する日本語の豊かさから仕事言葉への論の展開を整理し、手応えを感じながら作業をするときに現場で生まれる、豊かな仕事言葉の意味を捉えている。	記述の確認
知識・理解	語句の意味・用法、漢字を理解し、言語の果たす役割について理解を深める。	本文中での語句の意味・用法や漢字を理解し、わかり合うという、言語の認識や伝達の機能を理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとしている。	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	行動の観察
読む能力	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な語句の意味について理解している。	記述の確認



学習のねらい	○科学における「発見」とは何か。筆者の体験をとおした考え方について理解を深める。 ○故事成語を中心にした文章展開を捉とらえ、故事成語が何のたとえになっているかを読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：A 話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。		
教材名	「発見」最初は気づかない	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	科学的な探究とはどういうものか、考えを深めようとする。	筆者の幼い頃からの生物とのふれあいの歴史について読み、科学的な探究とはどういうものか、考えを深めようとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	科学的な発見に立ち向かう科学者の精神のありかたや、対象の捉え方について考えを深める。	筆者が、科学的発見に立ち向かう科学者の精神のありかたや対象との向き合い方についてどのように考えているか、理解している。	行動の観察 記述の確認
知識・理解	主要な常用漢字の音訓を理解する。	主要な常用漢字の音訓を正しく理解し、書くことができています。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	様々な本や文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしようとしている。	行動の確認
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な本や文章の書き手の意図を捉え、共感したり、疑問に思ったり、思索したりしている。	記述の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	国語の語句、文法の特色について理解している。	記述の分析

学習のねらい	○マンガのせりふや絵から情報を読み取り，その情報を論理的に詳述する。		
言語活動例	B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて，詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。		
教材名	マンガの楽しみ	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	4コママンガの限られた情報から，想像力をはたかせ，登場人物の状況を考えようとする。	マンガの絵から登場人物がおかれている状況や性格などをを想像し，考えようとしている。	記述の確認
書く能力	4コママンガの限られた情報から，主人公のおかれている状況や性格などを根拠に基づいて読み取り，文章にしている。	4コママンガの限られた情報から想像し，登場人物のおかれている状況や性格・思いを根拠に基づいて読み取り，適切に捉えて文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	課題として提示されている条件の文章を的確に把握し，適切な文体と言葉遣いで文を書いている。	このマンガにふさわしいせりふの文体や，適切な文体と言葉遣いで説明の文章を書いている。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	論理の構成や展開を工夫しようとする。	自分の考えが，確実な根拠に支えられ，前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書こうとしている。	記述の確認
書く能力	論理の構成や展開を工夫している。	自分の考えが，確実な根拠に支えられ，前後矛盾することなく論理的に展開している文章を書いている。	記述の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割などを理解している。	書くことに必要な，文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	記述の分析

学習のねらい	○追いつめられた状況の中での、人間の考え方や心の動きについて考える。 ○場面の推移や比喩表現に注意しながら、主人公の心理の移り変わりを捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。		
教材名	芥川龍之介「羅生門」	配当時間	5
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	場面の推移に従い、登場人物の心情や行動がどのような表現で描かれているか、理解しようとする。	下人のおかれている状況、老婆の考え方を捉え、二人の行動や心情の変化が、場面の推移に従ってどのような表現で描かれているかを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を把握するとともに、ここに描かれている人物や状況が意味するものは何か、理解している。	比喩表現や語りの視点に注意して、作品世界の状況を把握し、人物の考え方とその変化、そしてそれが意味するものが何であるかを理解している。	記述の確認
知識・理解	文章の構成を捉え、比喩などの表現技巧を文脈の中で理解している。	文章構成における場所や時間の設定、多用されている動物の比喩などの意味するものを的確に捉えている。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価しようとする。	文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。	文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文章の組立て、語句の意味、語句の用法、表記の仕方について理解している。	行動の観察

学習のねらい	○新聞に載っている様々な情報に気づき、その内容に関してお互いに効果的に伝え合う。		
言語活動例	A話すこと・聞くこと(2)ア 状況に応じた話題を選んでスピーチしたり、資料に基づいて説明したりすること。		
教材名	新聞を持ち寄って編集しよう まわし読み新聞	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	A話すこと・聞くこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	新聞をよく読み、いろいろな記事から新しい発見をしようとしている。	新聞のさまざまな箇所から記事を選択しようとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	記事について考えたことを、わかりやすく、効果的に発表し、また、相手の発言についても的確に理解し、反応を返している。	内容をわかりやすく伝え、聞き手が関心をもってくれるような話し方をしている。また、相手の発言に対して、理解が深まるような適切な感想や質問を返すことができる。	行動の観察
知識・理解	新聞を編集するときの記事の選択や配置が適切なものになっている。	伝えたいことが適切に表現されるような工夫がなされている。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べようとしている。	考えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話そうとしている。	行動の観察
話す・聞く能力	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べている。	えの根拠を箇条で示したり、考えた過程を説明したりするなど、話の組立てや進め方を工夫し、伝えたいことがよく分かるよう話している。	行動の観察
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	話すこと・聞くことにおける言語運用が、個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	行動の分析

学習のねらい	○「届く言葉」と「届かない言葉」の違いについて考えを深める。 ○具体例の内容と、それを示す意図を捉え、筆者の主張を明らかにする。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。 参考：B書くこと(2)ア 情景や心情の描写を取り入れて、詩歌をつくったり随筆などを書いたりすること。		
教材名	鷲田清一「届く言葉、届かない言葉」	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)・ウ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	心に届く言葉とはどのようなものかについて考えようとする。	心に届く言葉とはどのようなものかについて考えようとしている。	行動の観察
読む能力	事例と考えとを区別しながら、筆者の考えの中心を捉えている。	事例と考えとを的確に区別でき、筆者の考えの中心がどこに書かれているか、捉えられている。	記述の確認
知識・理解	文章の構成における段落と段落との関係について理解している。	主に事例を述べている段落と、考えを述べている段落とを判別することができる。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	論理的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	論理的な文章を、表現の技法や語句の使い方など書き手の工夫を捉えて読んでいる。	記述の確認
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	読むことに必要な文の組立て、語句の意味について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○身のまわりや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を文章にまとめる。 ○自分の意見を事実や体験に基づいて客観的に述べる。		
言語活動例	B書くこと(2)イ 出典を明示して文章や図表などを引用し、説明や意見などを書くこと。 B書くこと(2)ウ 相手や目的に応じた語句を用い、手紙や通知などを書くこと。		
教材名	新聞に投書してみよう	配当時間	8
学習指導要領の指導事項	B書くこと(1)ア・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	身のまわりや社会に目を向け、気づいたことに対する意見を積極的に文章にまとめる態度を身につけようとする。	身のまわりや社会に目を向け、そこから問題を発見しようとしている。	行動の観察
書く能力	自分の主張を他人に伝えるため、題名のつけ方や文章の組み立てに留意して、わかりやすい文章を書いている。	何を書くのか、主張を明確にし、また自分の立場を明確に示して文章を組み立て、読み手にわかりやすい文を書く力を身につけている。	記述の分析
知識・理解	自分の意見とその意見を裏付ける事実や体験が述べられている。	不特定多数の読み手を意識して、自分の意見をその根拠となった事実や体験をまじえながら文章にまとめている。	記述の分析

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てようとする。	自分や他の生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにしようとしている。	行動の観察
書く能力	優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立っている。	自分や他の生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにしている。	記述の分析
知識・理解	文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。	書くことに必要な文の組立て、語句の意味、語句の用法、国語の表記の仕方について理解している。	記述の分析

学習のねらい	○繰り返し音読することで、古典文学の言葉の響きを感じ取り、その美しさを味わう。		
言語活動例	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	古典の響き	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読することで、古典文学の言葉の響きを味わおうとする。	繰り返し音読することで、古典文学の響きを感じ取り、その美しさを味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの作品を表現の特色に注意して読んでいる。	それぞれの作品の種類や類型、文体の違いなどをふまえて読んでいる。	行動の確認
知識・理解	歴史的仮名遣いが現代語とは違うことを理解している。	歴史的仮名遣いの表記と読みの違いについて理解している。	行動の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	行動の確認

学習のねらい	○古語が現代でも使われている例や、「更級日記」の例から、古文への関心を深める。 ○歴史的仮名遣いに注意しながら「児のそら寝」を音読し、児と僧たちの思いを読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	古文の世界へ 古文入門 児のそら寝（宇治拾遺物語） 古文のとびら 1	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読しながら、説話の面白さを味わおうとする。	音読しながら、説話に登場する「児」と「僧たち」の心理の面白さを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心情や行動に注意して、場面を理解することができている。	場面ごとの登場人物の心情や行動の意味を捉え、作品のもつ面白さを理解している。	行動の確認
知識・理解	歴史的仮名遣いや古語というものについて理解している。	歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの音韻・表記の違いなどについて理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	記述の確認



学習のねらい	○場面の展開に注意して、登場人物の気持ちを想像しながら、話のおもしろさを味わう。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	古文入門 検非違使忠明（宇治拾遺物語） 古典文法の要点1	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の性格や気持ちを想像しながら、説話のおもしろさを味わう。	登場人物の性格や気持ちを想像しながら説話のおもしろさを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	口語訳や脚注をもとに、描かれた状況を理解することができる。	登場人物の動きや主人公忠明が置かれた状況を的確に理解している。	記述の分析
知識・理解	歴史的仮名遣いや古文独特の言葉の意味を理解する。	歴史的仮名遣いを正確に音読することができ、古文独特の表現を理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	行動の確認
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。	行動の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	行動の確認

学習のねらい	○できごとの原因や経過とその結果をたどりながら、周囲の人々の反応と主人公像を読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	公世の二位のせうとに（徒然草） 古典文法の要点2	配当時間	3（徒然草）
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	人々が良覚僧正の行動や性格を、どのように見ていたのか捉えようとする。	人々が良覚僧正のことをどのように思っていたのか考え、意見を出そうとしている。	行動の観察
読む能力	主人公が、それぞれの呼ばれ方になった原因を読み取っている。	良覚僧正が、それぞれの呼ばれ方になった原因を読み取り、的確にまとめている。	記述の分析
知識・理解	我が国の中世文学の代表作である「徒然草」の文学史的意義を理解している。	「徒然草」の文学的意義と、その中心的な思想や時代背景について理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の分析
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解しようとする。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品を集合的に捉えた時代全体の特質に気付いている。	記述の確認

学習のねらい	○会話に注意して，場面の様子と登場人物や筆者の思いを捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。		
教材名	高名の木登り（徒然草）	配当時間	3（徒然草）
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア) (イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話の内容を自分の経験と結びつけて理解しようとする。	「木登り」と「鞠」の共通点について自分の経験と結びつけて考え，意見をだそうとしている。	行動の観察
読む能力	物語にこめられた教訓の意味を読み取っている。	登場人物の言葉の意味を理解し，主題へと結びつけていくその意図を読み取っている。	記述の確認
知識・理解	重要古語の意味を理解している。	重要古語の意味を整理し，理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ，書き手の意図を捉えようとする。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ，書き手の意図を捉えている。	文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。	記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	記述の確認

学習のねらい	○展開を読み取りながら、登場人物の言動や結末の描き方とおして、筆者の文章表現の巧みさを味わう。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	丹波に出雲といふ所あり（徒然草）	配当時間	3（徒然草）
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	状況設定と登場人物の言動とおして、人物像やその思いを想像することができる。	状況設定や登場人物の言動を分析しながら、人物像を把握したり、言動の背景にある人物の思いを想像しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成、展開と、結末の面白さを読み取ることができる。	文章の構成や話の展開を正確に把握し、結末をもたらした原因・理由を分析することができる。	行動の確認
知識・理解	歴史的仮名遣いの読み、重要語句、歴史的な背景などを理解する。	正しく音読ができ、重要語句の意味や、話の状況設定に表れた歴史的背景を理解することができる。	行動の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	文章に表れている書き手の思考の流れに目を向け、なぜこの文章を書いたのか、なぜこのように書いたのかなどに迫っている。	行動の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、作品一つ一つに表れている個性と価値に気付いている。	行動の確認

学習のねらい	○繰り返される言葉に着目して、筆者のものの感じ方を捉え、味わう。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	五月ばかりなどに（枕草子） コラム三大随筆	配当時間	3（枕草子）
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読しながら、文章の特徴やキーワードを発見しようとする。	音読しながら、「をかし」が文末表現として繰り返されていること、また、視覚・触覚・嗅覚で捉えた「をかし」の感覚であることなどの文章の特徴を捉えようとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	情景を思い浮かべながら、場面や人物の動きを捉え、筆者が「をかし」と捉えた「美」の瞬間を、自分の感覚と照らし合わせて考えている。	描かれているのが、牛車に乗っての外出であり、筆者がその中から捉えた瞬間であることを理解し、その感動がどのようなものであったのかを自分の感覚と照らし合わせて理解している。	行動の観察 記述の確認
知識・理解	基本的な助動詞の役割や意味を理解している。 「枕草子」の文学史的意義を理解している。	助動詞が文章に表情を与える役割をもつことを理解している。 「枕草子」の文学史的意義と、背景にある貴族社会のありようについて理解している。	行動の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察 記述の確認
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の観察 記述の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	行動の確認

学習のねらい	○感情を示す微妙な言葉遣いに注意して、描かれている内容を想像する。		
言語活動例	C読むこと(2)ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。		
教材名	にくきもの(枕草子) 古文のとびら2	配当時間	3(枕草子)
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	一つ一つの叙述を追いながら、微妙な言いまわしを感じ取り、文章の特徴を捉えようとする。	筆者の個性的なものの見方の特徴を、叙述の中から、自分の経験と照らし合わせながら捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	助詞や助動詞の微妙な意味に注意しながら、筆者が表現している思いを感じ取っている。	巧みで微妙な文体による表現が、筆者の思いや人間性を生き生きと映し出していることに気づいている。	行動の確認
知識・理解	表現技法が文章に与えている効果について理解している。	冒頭の「にくきもの」の体言止めや、繰り返されている文末の連体形などがあげている表現上の効果を捉えている。	行動の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	行動の確認

学習のねらい	○リズム感のある表現を味わいながら、「人と栖」に対する筆者の考え方を理解する。		
言語活動例	C読むこと(2)ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。		
教材名	ゆく河の流れ（方丈記）	配当時間	1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・イ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	本文のもつリズム感を意識しながら音読することができる。	仮名遣いや句の切れ目などに気をつけて、音読している。	行動の観察
読む能力	比喩に注意しながら、「人と栖」に対する作者の考え方を理解することができる。	栖とそこに住む人のどのようなところが「ゆく河の流れ」や「うたかた」と共通しているのかを理解している。	記述の分析
知識・理解	対句の概念を理解した上で、対句的表現を指摘することができる。和漢混淆文がどのようなものを説明することができる。	本文中に見られる対句的表現を指摘することができる。本文中に漢文訓読調の表現と和文特有の表現があることに気づくことができる。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を叙述に即して的確に読み取ろうとする。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を叙述に即して的確に読み取っている。	語句や表現に注意して文脈を捉え、書き手の考えなどを、間違いなく、過不足なく読み取っている。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ，文語のきまりを身に付けている。	行動の確認

学習のねらい	○物語の展開に注意して、登場人物の状況や主人公の気持ちを読み取る。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	芥川（伊勢物語）	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の行動と心情を捉えようとする。	物語の場면을想像し、登場人物の思いを捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の具体的な動作などから心情の変化を読み取り、最後の和歌にこめられた思いを理解している。	物語に描かれている時間、場所、状況を的確に把握し、動作や行動から登場人物それぞれの思いを捉え、主人公の思いを集約している和歌の意味を理解している。	行動の確認
知識・理解	「係り結び」について基本的な理解ができている。	「係り結び」が使用されている部分が、なぜ強調されているのかを理解している。	行動の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。	古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	行動の確認



学習のねらい	○和歌に注意しながら、場面の展開や登場人物の気持ちを捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	筒井筒（伊勢物語）	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の中に表現されている当時の人々の生活や文化を知ろうとする。	当時の人々の、男女関係や結婚、成人などの習俗のありかたを知ろうとしている。	行動の確認
読む能力	登場人物の心情を読み取り、和歌との関係を捉えている。	三首の和歌に、それぞれ誰のどのような気持ちがこめられているのか読み取っている。	行動の分析
知識・理解	歌物語というジャンルと、使われている和歌の修辞について理解している。	歌物語における和歌の重要性と、使われている和歌の修辞があげている効果を理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。	行動の確認
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。	行動の分析
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。	歌物語における和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○「筒井筒」に関する現代の文章を読み、自分の解釈と比較しながら、古文に対する理解を深める。		
言語活動例	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	「筒井筒」について（俵万智『恋する伊勢物語』より）	コラム平安時代の結婚	配当時間 1
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)エ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	この文章と自分の解釈とを比べ、自分の解釈がどのように深まったのか考えようとする。	筆者の解釈と自分の解釈との違いが、どこから生じたのか、考えようとしている。	行動の観察
読む能力	現代的な解釈をとおして、昔の人達の思いや生活文化と今の私達との共通点や違いについて考えを深めている。	「幼なじみ」「恋」「成人」「結婚」という人生それぞれの場面における昔の人達の習俗や考え方と、今の私達のそれとを比較し、人間に対する理解を深めている。	行動の確認
知識・理解	和歌というものが日本の優れた伝統文化の一つであり、時代を超えて歌い継がれ、人々の心を捉えてきたことを理解している。	「歌物語」の中で和歌が感動の中心を占めていることにも示される、和歌という短詩型文学がもつ優れた特性を理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文  
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとする。	様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成しようとしている。	行動の観察
読む能力	幅広く本や文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	様々な本や文章を読み、人間、社会、自然などについて、自分なりの考えを形成している。	行動の確認
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	伝統的な言語文化へ多様な方面から迫り、我が国の言語文化の独自の性格やその価値に気付いている。	行動の観察

学習のねらい	○意味の切れ目に注意して音読し，作品世界をイメージ豊かに味わう。		
言語活動例	C読むこと(2)ア 文章を読んで脚本にしたり，古典を現代の物語に書き換えたりすること。		
教材名	うたう心 万葉集・古今和歌集・新古今和歌集 コラム三大歌集 古文のとびら3	配当時間	3
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	歌の調子に気をつけて音読しようとする。	歌の調子，意味の切れ目に注意して音読し，作品世界を味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの歌に描かれた情景と意思を読み取ることができている。	それぞれの歌に描かれた情景と意思を読み取り，わかりやすく説明することができている。	行動の確認
知識・理解	和歌の修辞について理解している。『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の文学史的意義を理解している。	『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』の作られた時代や，言語・内容・修辞等のそれぞれの特徴を理解している。	記述の確認

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	人物，情景，心情などを，どのように書き手が描いているのかを捉え，言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割，などを理解している。	文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	記述の確認

学習のねらい	○会話の内容と意図を明らかにし、人物のものの見方や生き方を捉える。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	木曾の最期（平家物語） 古文のとびら4 コラム源氏物語の世界	配当時間	4
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読を通じ、語り物独特の言葉遣いや調子の特徴を捉えようとする。	音読することをおして、語り物独特の言葉遣いや、調子の美しさを感じ取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の人物像と心情を読み取っている。	木曾殿と今井四郎の人物像をまとめ、互いを思い合う気持ちを読み取っている。	行動の確認
知識・理解	『平家物語』の文学史的意義を理解している。敬語の意味と用法を理解している。	『平家物語』の文学史的意義を理解している。平家物語に特徴的な敬語について理解している。	記述の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わおうとする。	文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わっている。	文章に描かれている情景を，文や文章，語句などから離れないようにして読み，人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。	行動の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち，表現の特色及び言語の役割，などを理解している。	国語の表記，語句，語彙，文法の特徴について理解している。	記述の観察

学習のねらい	○漢文訓読法は日本で創出されたものであり、漢文は日本の古典であることを理解する。 ○何度も繰り返し音読して、漢文の読み方について理解する。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	漢文の世界へ 漢文入門 故事成語	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文の意義について理解し、故事成語について考える。	漢文を学びたいと考え、故事成語を実際に使ってみたり、調べたりする。	行動の観察
読む能力	音読して漢文独特のリズムに慣れる。	歴史的仮名遣いを間違えずに読み、故事成語の意味を理解することができる。	行動の観察
知識・理解	訓読漢文と書き下し文は日本特有の文化であることを理解する。	返り点があるところは、日本語と語順が違うことを理解しており、なぜ違うのか考える。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとする。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読もうとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。	文学的な文章を、文章の種類や類型、書きぶりの違いなどを踏まえて読んでいる。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。	漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	行動の確認

学習のねらい	○何度も音読し、「虎の威を借る」の意味について理解を深める。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	漢文入門 虎の威を借る 訓読のきまり	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)イ・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文に関心を抱き、故事成語に興味を持つ。	「虎の威を借る」の成り立ちを理解し、日常に故事成語が多く存在することに気付く。	行動の観察
読む能力	場面を理解し、登場人物の心情を考えることで、故事成語の面白さを味わう。	登場人物の場面状況を把握し、その状況に相応しい心情を述べることができる。	記述（発表）の点検
知識・理解	訓読法を理解する。	返り点を理解し、訓読漢文を書き下し文に改めることができる。	記述（発表）の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。	記述の点検
知識・理解	言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化について理解している。	我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容とを繰り返しつつ築かれてきたことに気付いている。	行動の確認

学習のねらい	○何度も音読し、「蛇足」の意味を明らかにして、たとえのおもしろさを味わう。		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字、音声、画像などのメディアによって表現された情報を、課題に応じて読み取り、取捨選択してまとめること。		
教材名	漢文入門 蛇足 コラム故事成語と遊説家	配当時間	2
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ウ・エ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	漢文に関心を抱き、故事成語に興味を持つ。	「蛇足」の成り立ちを理解し、日常に故事成語が多く存在することに気付く。	行動の観察
読む能力	場面を理解し、登場人物の心情を考えることで、故事成語の面白さを味わう。	登場人物の場面状況を把握し、その状況に相応しい心情を述べることができる。	記述（発表）の点検
知識・理解	訓読法を理解する。	返り点を理解し、訓読漢文を書き下し文に改めることができる。	記述（発表）の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えようとする。	考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図を捉えている。	考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。	記述の点検
知識・理解	文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。	漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	行動の確認

学習のねらい	○返り点に注意して音読し、詩の世界を豊かに思い描く。		
言語活動例	C読むこと(2)ア 文章を読んで脚本にしたり、古典を現代の物語に書き換えたりすること。		
教材名	漢詩の世界 コラム日本人と唐詩 漢文のとびら漢詩の形式	配当時間	5
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)ア・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	想像力を働かせながら漢詩を読み、そのリズムの良さを味わう。	詩の内容を確かめながら、詰まるどころ無く音読することができる。	行動の観察
読む能力	漢詩に描かれている場面や風景を味わい、作者の心情を読みとる。	語句の意味、詩句の内容、詩句と詩句の繋がり、全体の構成を理解し、作者の心情を読みとっている。	行動の観察
知識・理解	唐代の時期、漢詩のきまりについて理解する。	唐代の時期区分、形式・押韻・対句などの漢詩のきまりを理解している。	行動の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとする。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。	行動の観察
読む能力	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わっている。	人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。	行動の分析
知識・理解	文語のきまり、訓読のきまりなどを理解している。	漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	行動の確認



学習のねらい	○『論語』の言葉に表された、人生や人間についての考え方を捉え、自己の問題として考える。		
言語活動例	C読むこと(2)エ 様々な文章を読み比べ、内容や表現の仕方について、感想を述べたり批評する文章を書いたりすること。		
教材名	論語の言葉 コラム孔子の人生	配当時間	5
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ・オ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(イ)・イ(ア)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	孔子の言葉を現代と比較して考える。	孔子の言葉が現代に通じることを理解している。	行動の観察
読む能力	孔子の考え方を理解する。	語句の意味、章の内容を理解し、孔子の言葉に込められたもの の考え方・見方を読みとる。	行動の観察
知識・理解	訓読法を理解し、訓読漢文を書き下し文に改める。	訓読に必要なきまり（返り点・置き字）、書き下し文に改める 際のきまり（助詞・助動詞・置き字）を理解している。	記述の点検

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文  
言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて、分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて、分かりやすく説明している。	行動の確認
知識・理解	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割、 などを理解している。	漢語の流入と定着という、語彙の歴史的な経緯について理解し ている。	記述の確認

学習のねらい	○主人公の行為の意図をとおして，人物像を明らかにする。(蓋頭上題合字・前有大梅林) ○時間の経過に沿ってできごとを整理し，戦いの駆け引きを読み味わう。(死諸葛走生仲達)		
言語活動例	C読むこと(2)イ 文字，音声，画像などのメディアによって表現された情報を，課題に応じて読み取り，取捨選択してまとめること。		
教材名	史話を読む「三国志」の人々 蓋頭上題合字・前有大梅林・死諸葛走生仲達 コラム三国志を楽しもう	配当時間	6
学習指導要領の指導事項	C読むこと(1)イ・ウ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ア(ア)(イ)		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	本文をリズム良く読み，場面展開を理解する。	場面をイメージし，登場人物に感情移入して読むことができる。	行動の観察
読む能力	登場人物の心情を理解し，その行動についてを客観的に評価する。	登場人物が取った行動について，その意図を理解し，全体の流れの中でそれが妥当かどうか意見を述べるができる。	行動の観察
知識・理解	訓読法の意義を理解し，書き下し文にすることによって内容の概要を理解する。	日本語と漢文の違いから日本語の特質を理解し，書き下し文にすることで話の概要を読解することができる。	記述の観察

参考：『評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（高等学校 国語）』（国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成24年7月）の文言に即した評価規準の設定例

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	文章の内容を必要に応じて詳述しようとする。	目的に応じて，分かりやすく説明しようとしている。	行動の観察
読む能力	文章の内容を必要に応じて詳述している。	目的に応じて，分かりやすく説明している。	行動の確認
知識・理解	文語のきまり，訓読のきまりなどを理解している。	漢文を読むことに役立つ，訓読のきまりを身に付けている。	記述の確認